

分類：医療・社会・行動科学 III

授業科目名：保健と福祉の制度（Health and Welfare Policy）

対象学年：3年次必修

時間割コード：71583007

開設学期等：第18週

単位数：1

1. 主任教員

野村 恭子（教授、衛生学・公衆衛生学講座、6086）

2. 担当教員

野村 恭子（教授、衛生学・公衆衛生学講座、6086）

伏見 雅人（教授、保健管理センター、2287）

中山 勝敏（教授、呼吸器内科学講座、6436）

前田 恵理（准教授、衛生学・公衆衛生学講座、6088）

岩田 豊人（医学部講師、衛生学・公衆衛生学講座、7032）

ロザリン Y（助教、衛生学・公衆衛生学講座、6466）

山崎貞一郎（助教、衛生学・公衆衛生学講座、3260）

榎 真美子（非常勤講師、医療法人榎クリニック）

茂木 隆（非常勤講師、岩手県予防医学協会）

高山 裕子（非常勤講師、聖霊女子短期大学）

渡部 ゆう（非常勤講師、東京都福祉保健局保健政策部）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

【ねらい】

臨床現場で必要となる各疾患の病態を習得して診療を実践していくために、限られた医療資源の有効活用の視点を踏まえ、保健・医療・福祉・介護の制度の内容を学ぶ。

また、関連するプロフェッショナリズム、倫理、医療行動科学、医療安全、医療法（制度）、EBM等について学ぶ。

【授業の概要】

保健と福祉の制度の概要、発展過程を学習する。

関連するプロフェッショナリズム、医の倫理、医療安全、医療法（制度）、EBMについて説明できる。

4. 教科書・参考書

シンプル衛生公衆衛生学（南江堂、2020年度版）

NEW 予防医学・公衆衛生学（南江堂、改訂版第4版2018年）

国民衛生の動向（厚生統計協会、2019/2020）

自殺対策白書（<https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/jisatsu/19/>）

5. 成績評価の方法

統一試験、形成評価（60%未達の場合は課題を課す）

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

最後の講義時間に形成試験を行うので、配布資料・教科書等により予習・復習を行うこと。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	9月12日 (月)	1-2 時限	講義	テーマ：産業保健総論 産業保健（労働基準法等の労働関係法規を含む）を概説できる。	岩田 豊人	医学系研究棟4階6講義室
2	9月12日 (月)	3-8 時限	講義	テーマ：産業保健各論(1)(2)(3) (1) 化学的職業性環境要因、(2) 物理的職業性環境要因、(3) 事務作業ならびに健康管理上頻繁に問題となる環境要因を列挙し、健康障害の発症機序と予防対策の概略を説明できる。	岩田 豊人	医学系研究棟4階6講義室
3	9月12日 (月)	9-10 時限	講義	テーマ：健康行動理論 ライフステージに応じた健康管理と環境・生活習慣改善（環境レベル、知識レベル、行動レベルと行動変容）を説明できる 医療人類学や医療社会学等の行動科学・社会科学の基本的な視点・方法・理論を概説できる。 健康行動や行動変容を行う動機付けを概説できる。	前田 恵理	医学系研究棟4階6講義室
4	9月13日 (火)	1-2 時限	講義	テーマ：精神保健 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、精神障害者の社会復帰施策、保健所と精神保健福祉センターの違いを説明できる。	伏見 雅人	医学系研究棟4階6講義室
5	9月13日 (火)	3-6 時限	講義	テーマ：自殺概論と自殺対策 わが国の自殺の実態、現状、背景、対策を説明できる。 秋田県の自殺現状や対策の具体例を説明できる。	ロザリンY	医学系研究棟4階6講義室
6	9月13日 (火)	7-10 時限	講義	テーマ：食品衛生 栄養、食育、食生活を説明できる。 身体活動、運動を説明できる。 食品衛生法の概要と届出義務を説明できる。	高山 裕子	医学系研究棟4階6講義室
7	9月14日 (水)	1-2 時限	講義	テーマ：喫煙と疾病 喫煙（状況、有害性、受動喫煙防止、禁煙支援）を説明できる。	中山 勝敏	医学系研究棟4階6講義室
8	9月14日 (水)	3-4 時限	講義	テーマ：高齢者保健 地域包括ケアシステム概念を理解し、地域における、保健（成人・高齢者保健、地域保健、精神保健）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。 高齢者の退院支援と介護保険制度を説明できる。	野村 恭子	医学系研究棟4階6講義室
9	9月14日 (水)	5-6 時限	講義	テーマ：高齢者保健各論 各ライフステージの健康問題（高齢者保健）を説明できる。	野村 恭子	医学系研究棟4階6講義室
10	9月14日 (水)	7-10 時限	講義	テーマ：学校保健 地域保健における学校保健を概説できる。 1. 学校保健の基本的な考え方を説明できる。 2. 学校保健に係わる法令について概略を述べることができる。 3. 学校における健康診断について特徴と内容を説明できる。	榎 真美子	医学系研究棟4階6講義室
11	9月15日 (木)	1-2 時限	講義	テーマ：ひきこもりと若者メンタルヘルス ひきこもりの概念、社会的背景、精神保健のアプローチを説明できる。	ロザリンY	医学系研究棟4階6講義室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
12	9月15日 (木)	3-4 時限	講義	テーマ：リプロダクティブヘルス 各ライフステージの健康問題（母子保健、学校保健、産業保健、成人保健）を説明できる。文化・ジェンダーと医療の関係を考えることができる。キャリア開発能力を獲得する。	前田 恵理	医学系研究棟4階6講義室
13	9月15日 (木)	5-8 時限	講義	テーマ：医療保険制度 医療保険及び公費医療を説明できる。	山崎貞一郎	医学系研究棟4階6講義室
14	9月15日 (木)	9-10 時限	講義	テーマ：東京都の保健衛生行政 感染症法の概要と届出義務を説明できる。 地域における、保健（母子保健、学校保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。 結核症、非結核性（非定型）抗酸菌症の症候と診断と治療及び予防法を説明できる。 保健、医療、福祉と介護のチーム連携における医師の役割を説明できる。 保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。 キャリア開発能力を獲得する。	渡部 ゆう	医学系研究棟4階6講義室
15	9月16日 (金)	1-2 時限	講義	テーマ：医療従事者の健康管理 医療従事者の健康管理（予防接種を含む）の重要性を説明できる。 標準予防策（standard precautions）の必要性を説明し、実行できる。 医療現場における労働環境の改善の必要性を説明できる。	野村 恭子	医学系研究棟4階6講義室
16	9月16日 (金)	3-6 時限	講義	テーマ：産業保健特論 各ライフステージの健康問題（産業保健、成人保健）を説明できる。	茂木 隆	医学系研究棟4階6講義室
17	9月16日 (金)	7-8 時限	自主学习	テーマ：保健と福祉の制度	前田 恵理 岩田 豊人 口ザリンY 山崎貞一郎	医学系研究棟4階6講義室
18	9月16日 (金)	9-10 時限	形成評価	テーマ：終了時客観試験	野村 恭子 前田 恵理 岩田 豊人 口ザリンY 山崎貞一郎	医学系研究棟4階6講義室